

末に流れて居りはしないだらうか。清朝の時代に於ては學者として儒教の精神的方面の開拓を試みたものが少ないのみならず、政治に關係するものは精神的方面を顧みず經濟に従事するものは精神的方面も統制的方面も顧みないやうな所はないだらうか。此の如くにては儒教體系の三文化の綜合實現は容易でない。これは現在の儒教が環境順應の法則に合はない爲めではないか。

六 儒教の革新

支那の環境は元明を経て頗變遷し來つた所がある。特に明の中世以後西歐航海術の發達に伴ひ米大陸や濠洲の發見となり西人東漸の勢漸く盛になり宗教や科學の傳來を見るに至つた。基督教は明末頗盛に入り來つた。けれども佛教傳來の時程の流行傳播を見ないのは基督教の本質が佛教と異なるのみならず、支那の環境が佛教流行の時と異なる所がある爲めである。科學に於ては明末已に天文曆法數學地理等の影響を蒙りこれが清朝に及んで居る。特に近代に至つて交通の便利になつたのみならず、國際關係の密接になつたことは支那を以て天下とし一大環境となした時と異なり、最早世界を以て一大環境としなければならぬやうになつた。故に精神的文化に於ても物質的文化に於ても統制的文化に於ても西洋文化の影響を蒙らなければならぬやうになつた。これが爲めに經濟的方面政治的方面に一大革新を見んとするのみでなく道德的方面にも影響を受けつゝある。女子の解放を唱へ家族の解放を叫び甚しきは箇人の所有權を否認せんとするのみならず、國家をも否認せんとするものもあり、儒教の如きは舊式文化の遺物として排斥し去らんとするものもある。けれども西洋文化が果してその儘に移植せらるるであらうか。環境の支配は已に前に述べた通りである。大環境の支配は固より免れないが中環境や小環境の支配も並びに認めなければならぬ。而してその環境に絶対の固定なきと同時に絶対の變遷がないとすれば支那自身の環境に特に順應する必要がある。

彼の「ルーテル」が宗教改革に成功した所以はやはり彼れがその環境に順應した爲めといはなければならぬ。若し彼にして全く基督教を排斥し、新に回教や佛教を輸入せんとしたならば必ず失敗に歸したであらう。何となれば此の如くにては環境順應の法則を無視することになるからである。今や支那は各方面に改革をなすべきものが少くない。而して儒教の革新を試み支那今日の環境に順應するやうにするは、急務中の最急務ではあるまいかと思ふ。

熟ら按ずるに支那の文化は三大流域と關係がある。三大流域とは黃河流域、揚子江流域及び珠江流域である。支那の文化が先づ黃河流域に發達したことは言ふまでもないがその中心は一時山東（齊魯）であつた。これが河南（洛陽）陝西（長安）に移るやうになつたのはその後のことである。揚子江流域は周秦の時代には猶未開の地方が少くなかつた。然るにこれが支那文化の中心となつたのは三國の時吳が今の南京を國都としてから五胡十六國の亂により民族の大移動を來し、漢族が中原の文化を携へて南遷し、これを揚子江上に移植してから後のことである。而してその文化の中心は江蘇（南京）浙江（杭州）であつた。黃河流域の文化の觀るべき時代は千五百年に亘る。然るにこれが揚子江流域に移つてからまた今日に至るまで殆一千五百年に近く、今猶支那文化の中心たるが如き觀があるけれども余は將來更に珠江流域の文化の前途に多大の望を屬せざるを得ないのである。

珠江の流域は南方に僻在して居つたけれども廣州の番禺は已に漢代から中原との交通のあつた上に海路南洋や印度方面との交通があつた。故に割合に早く中原の文化の影響を受けたのみならず、海外の文化にも接觸したやうである。佛教の支那傳來は陸路と海路との兩筋あるが海路は即ち廣州を入口とした。彼の南朝の佛馱跋托羅の如き菩提達磨の如きは最有名であるが皆廣州より陸路北上して建康（南京）へ赴いたといはれる。回教の傳來も海陸の兩路に分れるが廣州即ち廣州は大食人（アラビヤ人）の貿易場として唐宋の時代に知られて居つた。彼の廣州の清真寺の尖塔や「ワツカス」の墓の來歴に就きては猶考證を待たなければならぬが唐末に大食人の來住者の多數であつたことは彼れ等の遺した記行の書にても徴す可く、従つて回教のこの地に傳來せられたことも疑ない。基督教の傳來にも海陸の兩路あるが陸路より來つた唐や蒙古の時代は未だ支那文化に大なる影響を與ふるに至らなかつた。然るに明代に廣州へ來つた天主教の教士には利瑪竇があり湯若望があつた。彼れ等は陸路北上して北京へ入り明清の時代を通じて基督教の教義を傳へたのみならず、特に天文曆法數學地理等に於ける西洋科學の智識を輸入して支那文化の上に影響を及ぼしたことが少なくない。且澳門は古く葡人の據る所となり廣州は西人貿易の市場となれること猶我が長崎の如き位置にあつたから常に西洋文化の入口となつたのも怪むに足らない。かくの如く廣州は常に海外の文化に接觸したのみならず其民風人情の俊敏輕快なる所から今日に於ても往々新しき文化の謳歌者宣傳者の現はれるのも偶然でない。然らば珠江流域文化の中心は勿論廣州であつて、これが將來支那文化の上に重要な地位を占むべきことも勿論であらう。従つて儒教の革新を特に珠江流域の人士に向つて期待する所以も偶然でないであらう。

宋代の儒教の革新には張橫渠や程明道程伊川も與つて居るから黃河の流域にも關係がない譯はないけれども、これが創開者たる周茂叔や大成者たる朱文公及び朱文公に對抗せる陸象山の生地、若くはその居住した地方からいへばその最揚子江の流域に關係の深いことはいふまでもない。故に宋代儒教の革新は揚子江流域に於て完成せられたといふて差支ない。而して朱文公は最福建（閩）の地方に緣故が多かつたからその學統を繼承したものに福建地方の人が少くなかつたのは怪むに足らぬ。この福建は揚子江の流域と珠江の流域の中間に位するけれども地理的には寧ろ後者の流域に屬すべきであらう。故に儒教革新の餘波は當然珠江の流域にまで及ばなければならぬ。

明代に朱子學派に對して一派の旗幟を翻した王陽明は浙江の出身で、江西に最緣故を有するが雲南にも居り貴州にも謫せられて居つたから多少珠江流域にも觸れて居る。特に王陽明の前驅と稱せられた陳白沙は廣東の新會縣の生れであつた。また其門下の湛甘泉は廣東の增城縣の人で陽明とは學說を異にして居つたが頗相重じ當時の學界に並び稱せられた。これ等は儒教革新の餘波が珠江流域に及んだ證據ではないか。然るに清朝に及んでは考據の學の流行の結果この餘波は微々として殆觀るべきものなきに至つた。けれども前に述べた如く明末より近代に及ぶまで珠江流域は常に西洋文化の波に洗はれつゝあつた。この影響は何れの方面にか現はれなければならぬ。即ち前には基督教徒たる洪秀全（長髮賊）の清朝反抗となつて現はれ、後には共和主義の孫中山の革命運動となつて現はれた。これ等は皆政治的革新を主とするものであるが、未だ儒教革新を標榜するもの現はれなかつた。

廣東の康南海が春秋公羊の學說を奉じ禮記の禮運に見えた大同の理想を抱き論語注や新學僞經考や孔子改制考などを著し光緒帝に説いて變法自強の策を實行せんとしたのは幾分儒教革新の意義に觸れて居る。けれども彼は一蹶して其志を行ふことが出来ず今は上海の郊外に雌伏して居る。香港には中華聖教總會といふものがあつて樂天報を發刊し、又樹棠文集を出版して居る。これは廣東の梁樹堂の儒教に關する論文を集めたもので或は孔子の社會主義を論ずとか或は孔子の富強政策を論ずとか、或は孔子の學說と「マルクス」や「スペンサー」等の學說とを比較したりして居る。これを見ると儒教の面目を一新せんとする革新思想が現はれて居るけれども未だ十分讀者をして首肯せしむるまでには至らない。兎に角現在支那には一方に儒教を以て共和政體の障害物とし、これを攻撃する吳虞の文録の如きものがあるに拘はらず、これを革新して環境に順應せしめんとするものゝあることが認められる。而してこの革新論者に廣東地方の人があるのは將來儒教革新の議論や事業が珠江流域より現れんとする兆候ではなからうか。

儒教を如何に革新すべきかは重大なる問題で今茲に自分の意見を述べやうとは思はない。但曾て漢唐の訓詁が宋代の義理となり、儒教經典の解釋を一新してその回復の氣運を助け得たのは當時の學者がその環境に順應するに足るべき學問識見をもつて居つたからであらう。今日儒教の體系が精神文化物質文化及び統制文化の綜合にあることを明にし、これを組織的に説明するには道德政治經濟に關する新しき學問の智識を必要とする。これは朱文公の如き頭腦の明敏にして精力の絶倫のものでなくては難しいが、自分は此の如き人物が特に珠江の流域より現はれ出でんことを期待するものである。

環境と文化との關係より觀て儒教の革新は極めて必要なることであるから早晚この期待を満足せしむる時代が來るであらう。若し果してこの時代が來たならば、やがて支那の國土民族に一道の光明を投げ與へる時であらうと思ふ。(完)

(附記) 右は大正十三年十二月の四日五日六日に亘り廣東大學に於て講演した大綱である。當時聽講志望者は十餘の専門學校以上の男女學生二千餘人であつたが、講堂の狹隘である爲めに千餘名を收容するに止まつた。蓋廣東に於ける日本學者の講演はこれが嚆矢であるといふことである。(大正十四年七月中央公論所載)

昭和四十四年九月十五日 第一刷一千部印刷
昭和四十四年九月二十二日 第一刷一千部發行

版權所有

一册 [定價] 四圓五拾錢

支那史研究 第一刷版

製本所	印刷所	印刷者	發行者	著作者
鈴木製本所	東京市神田區錦町二ノ五	東京市文雅堂印刷所	東京市日本橋區吳服橋二ノ五	東京市市村環次郎
		東京市海野勇助	東京市神田龍一	

發行所 東京市日本橋區吳服橋二ノ五 春秋社

發賣所 東京市日本橋區吳服橋二ノ五 松栢株式會社

LI 36-
④54



